

## 調査報告

# 和歌山県すさみ町の「イノブタダービー・イノブータン王国建国28周年祭」 (2013年) —観光イベント調査結果—

八 木 紀一郎<sup>1</sup>

## Inobuta Derby and the Celebration of the Parody Kingdom of Inobutan, 2013 — Research Report of a Local Tourism Event —

Kiichiro Yagi

### はじめに

これは2013年5月3日に和歌山県西牟婁郡すさみ町で開催された「イノブータン王国建国28周年祭&イノブタダービー」<sup>2</sup>の調査報告で、本誌前巻に掲載された前年度の同一イベントの調査報告<sup>3</sup>の続編である。前編で説明したように、筆者は同じ学部の牧野邦昭講師とともに、外国学部浅野栄一教授を代表とした摂南大学2012年度 Smart and Human (スマート・アンド・ヒューマン) 採択研究「すさみ町総合研究」に加わっていて、この調査もその一環である。2012年度の調査内容はイベント会場来場者・離場者数のカウント、会場内での来場者へのアン

---

<sup>1</sup> 摂南大学経済学部教授。

<sup>2</sup> このイベントの主催者は、すさみ町商工会を事務局にした「イノブタダービー実行委員会」であるが、町役場も全面支援する町ぐるみのイベントである。会場内に設営された建国祭セレモニーのステージには、着ぐるみのイノブタ大王の家族のほか、町長がこの王国の総理大臣として、町の幹部、商工会会長、観光協会会長、JR周参見駅長、郵便局長など町の要人たちがみなパロディがかった名称の大臣として登壇する。なお、実在のブータン王国への非礼を避けるために「イブ王国」と称することもあった。

<sup>3</sup> 八木紀一郎「和歌山県すさみ町の『イノブタダービー・イノブータン王国建国祭』—観光イベント調査結果」『摂南経済研究』第3巻第1・2号。

ケート、関係者からのききとりであり、本誌前巻では、そのうち来場者・離場者カウントと会場内アンケート調査の結果を掲載した。

しかし、2012年度のイベントは、2つの悪条件（1. 本来の開催予定日が雨になると予報されたため1日順延開催となったこと、2. 開催日当日も風が強く、とくに会場付近では舞い上がった砂が来場者に吹き付ける状態であったこと）のもとでの開催であったため、それがとくに来場者数に影響している可能性があった。そのため、そのような悪条件に影響されない年度のデータを得たいと考え、2013年度のイベントについて再度同様な調査を実施したいと考えた。

また、昨年度の会場内アンケートでは、来場者の属性とともにイベント内容への期待・感想を質問したが、今年度はすさみ町の将来に大きな影響を与えると思われる近畿自動車紀勢線延伸について質問することにした。この高速自動車道は、現在は南紀田辺 IC で終わっているが2015年度中にすさみ町まで延伸・供用される予定で建設工事が進んでいる。すさみ町内には、自動車道東端の江住地区に IC が設けられるだけでなく、中心部の周参見地区に近い場所にも IC が設けられることになった<sup>4</sup>。すさみ町も、この高速道路延伸を町の産業および観光振興の最後のチャンスと位置付けて重視している。したがって、イベントに来ているすさみ町および周辺地域の住民に、この自動車道の利用ニーズと延伸効果についての期待を尋ねることが有益であると考えた<sup>5</sup>。

さらに今回の調査報告には、会場内のテント商店街への出店状況についての節を設けている。この観光イベントにどのような住民・団体が出店しているかを知ること、イベントの性質の把握にとって重要だからである。

こうしたローカル・イベントの調査は多数おこなわれていると考えられるが、一般に公開された調査報告は思いのほか少ない。本調査は2年にわたって同じイベントをとりあげたこともあって、紀南地域に定着し、町内および近隣の住民に親しまれているイベントの実態を明らかにすることができた。調査の実施を許可していただき、多くの便宜をとりはからっていただいたイベントの実行委員会および関係者・関係団体の各位に対して感謝します。

---

<sup>4</sup> 高速自動車道の IC は1町村にたいして1ヶ所というのが原則であるが、東日本大震災のあと津波に影響されない海拔で内陸部を走る自動車道の震災対応機能が再評価された。すさみ町がそれまでとっていた津波対策は津波の最大予想高度を5～6メートルと見積もったものにすぎなかったが、東北大震災後に見直された南海トラフ巨大地震発生時の予想津波高度は最大20メートルにまで引き上げられた。このような巨大津波が襲来するならば、海岸部を走る国道42号線は使用不可能となり、周参見地区は壊滅的な被害を受けたまま孤立することが予想されたからである。

<sup>5</sup> これは2011年度に摂南大学のPBL授業「都市と地方を結ぶツーリズム」を履修して以来3年にわたってすさみ町をフィールドにしてきた学生の発案になるものである。とくに土居弘憲君、船倉拓也君は彼らの卒業研究の一環としてこのアンケート調査の設問の作成とその結果の整理を担当した。他に、経済学部4回生川端健太郎、経済学部2回生佐向裕介、理工学部2回生谷島僚馬の3君が現地調査の調査員となって協力した。

## 1. 来場者・離場者の推移の調査

イベント会場の出入り口3か所(国道GS前から会場芝生地におりてくる正面口、東側スロープ口、東側駐車場から会場および砂浜にくる入口)に調査員を配置して、7時半から16時までの入場者および離場者をカウンターで数えさせた。カウントする対象は、前年同様に中学生以上とした。

なお、このイベントの全体にわたるプログラムは表1のようになっている。

表1 王国建国28周年祭プログラム

8:00	なんでも朝市(5:00まで)／イノブタ汁サービス(先着500名様)／潮干狩り
8:45	イノブタうどん早食い競争(受付・8:30)
9:30	イノブタダービー第1レース
10:00	イカの皮むき選手権(受付・9:30)
10:30	王国建国二十八周年祝賀パレード(周参見駅～建国祭会場)
10:50	イノブタダービー第2レース
11:00	王国建国二十八周年記念式典
11:30	海上GOZA走り競争(受付・10:30)
11:30	すさみスターフィッシュマーチングバンド
12:30	イノブタダービー第3レース
13:00	シーカヤックGPレース(予選)
13:15	ダンスパシフィックブルーによるダンス
13:30	クルーザーによる遊覧(一人200円 受付・12:00)
13:45	シーカヤックGPレース(決勝)
14:00	魚のつかみ取り(1人1,000円 受付・12:30)
14:30	ケンケンかつお販売(和歌山南漁協すさみ支所)
14:30	摂南大学「しゅん太&バンド」の演奏
15:00	イノブタダービー第4レース

(主催者提供)

表2は各入口ごとの来場者および離場者数であり、表3は開場時に会場にいた人も含めた来場者と離場者の累計および、その差として得た会場内滞留者数である、これらの数値はグラフ(図1、2、3)にもしてある。

表1 来場者と離場者数の推移

時間帯	来場者				離場者			
	GS 前 正面口	東スロープ 口	東駐車場側 砂浜口	全来場者	GS 前 西口	東スロープ 口	東駐車場側 砂浜口	全離場者
7:30-8:00	208	45	412	665	15	4	60	79
8:00-8:30	244	32	232	508	28	9	91	128
8:30-9:00	294	34	280	608	89	25	239	353
9:00-9:30	257	70	279	606	83	19	143	245
9:30-10:00	347	73	179	599	226	76	301	603
10:00-10:30	452	97	216	765	208	18	213	439
10:30-11:00	526	77	195	798	222	41	101	364
11:00-11:30	321	83	197	601	341	69	186	596
11:30-12:00	348	95	226	669	258	79	150	487
12:00-12:30	300	73	160	533	155	51	134	340
12:30-13:00	227	35	116	378	546	110	255	911
13:00-13:30	194	60	144	398	282	72	161	515
13:30-14:00	110	41	155	306	338	62	273	673
14:00-14:30	110	23	89	222	258	48	140	446
14:30-15:00	92	43	98	233	172	42	129	343
15:00-15:30	46	16	47	109	406	105	423	934
15:30-16:00	30	5	63	98	158	47	152	357
計	4106	902	3088	8096	3785	833	3151	7813

表2 累積の来場者数と離場者数

時刻	来場者累計	離場者累計	差(場内滞留者)
7:30	537	0	537
8:00	1202	79	1123
8:30	1710	207	1503
9:00	2318	560	1758
9:30	2924	805	2119
10:00	3523	1408	2115
10:30	4288	1847	2441
11:00	5086	2211	2875
11:30	5687	2807	2880
12:00	6356	3294	3062
12:30	6889	3634	3255
13:00	7267	4546	2722
13:30	7665	5060	2605
14:00	7971	5733	2238
14:30	8193	6179	2014
15:00	8426	6522	1904
15:30	8535	7456	1079
16:00	8633	7813	820

まず全体の数字からみていくと、7時半からカウントした来場者の数は8,096人であるが、開場時間前に来ていた主としてイベント関係者や出店者537人を加えると、8,633人である。これは前年度の7,109人を約1,500人上回っている。小学生以下の児童・幼児はカウントしていないが、このイベントの来訪者は子連れが多いので、中学生以上1に対して0.4～0.5の比率ぐらいになるだろう。したがって、児童・幼児もカウントすれば来場者1万人以上と言っても誇張にはならない。

悪条件での開催であった前年度に比べての増加率は2割程度(21.4パーセント)で思ったほどは伸びなかった。しかし会場内滞留者の数値をみると、昨年度それが2千人を超える時間帯が10時半から12時半の2時間だけであったのに対して、今年は9時半から14時半までの5時間に延びていて、12時台のピーク時には3千人を超えていた。この程度の増加でも、会場内の賑わいはかなり違うのである。

来場者数は、開場時の賑わいが少し落ち着いたあとの10時台が最多で、次に多いのは11時台であるが、会場内滞留者が最多なのは12時台である。10時半にJR周参見駅から会場までのパレードが始まり、11時からメインイベントのイノブータン王国の建国記念式典が開始されている。それに合わせて来場し、昼時には会場内売店で飲食や買い物を楽しむ人が多いのであろう。離場者が最多なのはイノブタダービーなどのイベントが終わった15時過ぎであるが、昼過ぎの12時半から13時の半時間もそれに匹敵する離場者がある。前年は、この昼過ぎの時間帯における出入りが今年度以上に多く、とくに離場者がとびぬけて多かった。おそらく砂を吹きつける強風のために、滞在時間を短くした来場者が多かったからであろう。

3つの出入り口のなかでは、来場者・離場者ともに最多なのは、国道から会場芝生地中央におりてくるGS前正面口であり、駐車場のある東側から会場芝生地および砂浜に入る東口がそれに次ぐ。時間帯によっては、後者が前者を上回ることもある。それに対して、会場東から国道壁に沿って降りてくる東スロープ口の利用者は来場・離場ともに少ない。

図1 来場者・離場者・会場内人数

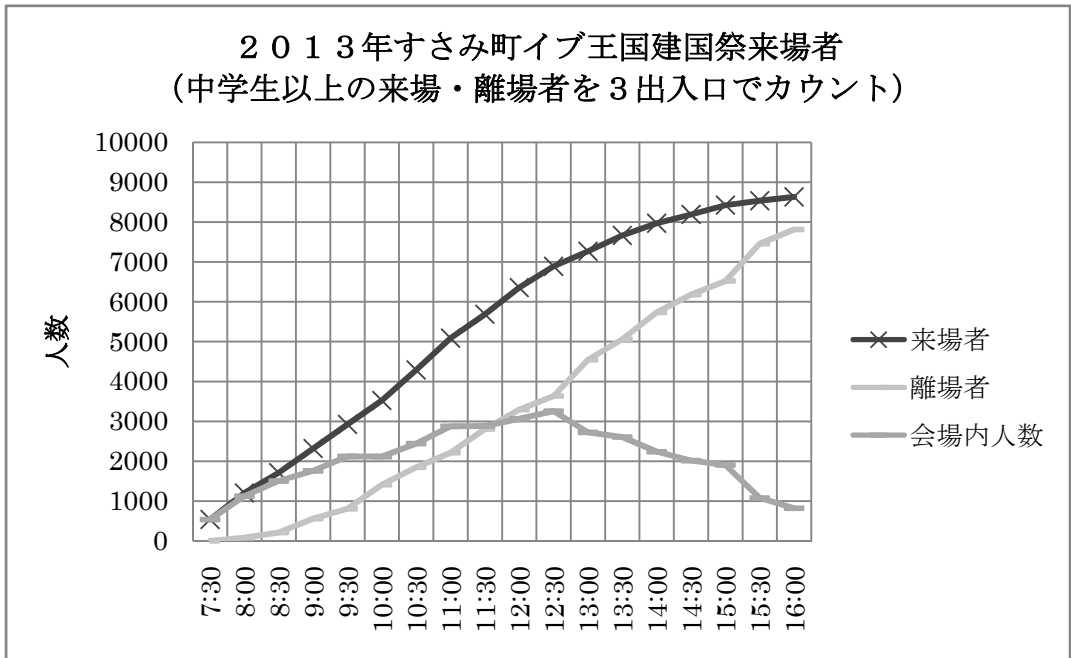


図2 3出入口の時間帯ごとの来場者

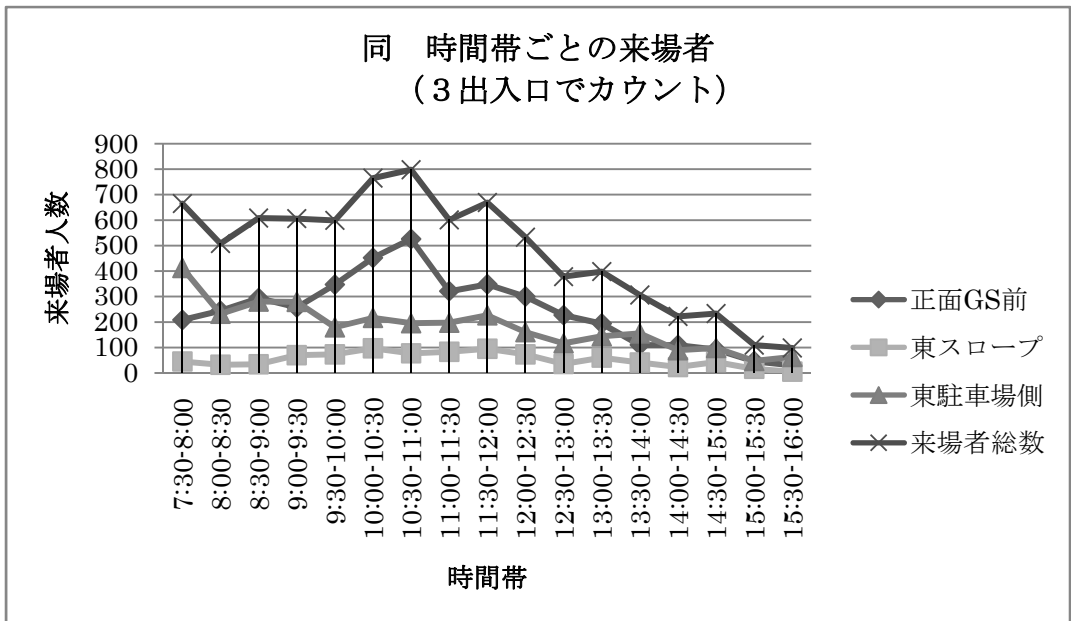
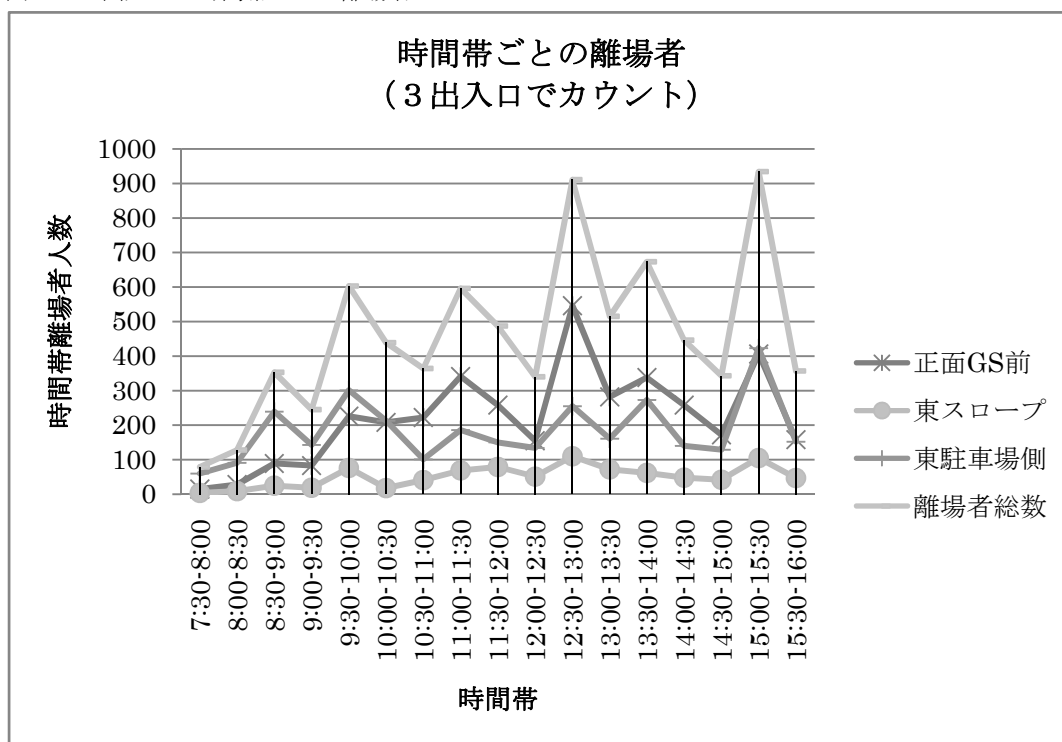


図3 3出入口の時間帯ごとの離場者



## 2. 来場者アンケート

会場内で調査協力員によって、中学生以上に限定した来場者を対象にしてアンケートをおこなった。アンケートに回答してくれた来場者は186人であった。

以下、アンケートの設問に、選択回答数とその割合(百分率)を示す。

=====

すさみ観光イベント調査アンケート 2013年5月3日 総回答者 186名

### Q1. 今日はどこから来られましたか?

- |         |         |              |         |         |
|---------|---------|--------------|---------|---------|
| 1. すさみ町 | 2. 白浜町  | 3. 串本町       | 4. 上富田町 | 5. 古座川町 |
| 6. 田辺市  | 7. 和歌山市 | 8. それ以外の和歌山県 | 9. 大阪府  |         |
| 10. 奈良県 | 11. 三重県 | 12. それ以外(遠方) |         |         |

1. 28(15.1%)    2. 19(10.2%)    3. 6(3.2%)    4. 16(8.6%)    5. 2(1.1%)  
6. 47(25.3%)    7. 6(3.2%)    8. 14(7.5%)    9. 31(16.7%)    10. 1(0.5%)  
11. 0    12. 16(8.6%)

総回答 186

すさみ町 15.1%    すさみ町以外の和歌山県 59.1%    県外 25.8%

**Q 2. 今日はどの交通手段で来られましたか？**

1. 鉄道 (JR)    2. 自家用車    3. 知り合いの車    4. 路線バス    5. その他

1. 13(7.0%)    2. 151(81.2%)    3. 9(4.8%)    4. 0    5. 13(7.0%)

総回答 186    「その他」の多くは、徒歩あるいは自転車で来た地元の人であろう。

**Q 3. 南紀田辺インターからすさみインターの延伸後、同路線を利用されますか？**

1. はい    2. いいえ

1. 164(88.2%)    2. 22(11.8%)

総回答 180

**① 1のはいを選択された方にお尋ねします。利用目的は何ですか？（複数回答可）**

1. 通勤・通学    2. 買い物    3. 病院通い    4. 観光    5. その他

1. 9(4.9%)    2. 27(14.7%)    3. 10(5.4%)    4. 95(51.6%)    5. 43(23.4%)

総回答 180

うち、すさみ町住民の利用目的は、

1. 5(13%)    2. 17(45%)    3. 9(24%)    4. 4(11%)    5. 3(8%)

すさみ町以外の和歌山県住民の利用目的は、

1. 4(4%)    2. 10(10%)    3. 1(1%)    4. 61(60%)    5. 26(25%)

和歌山県外の住民の利用目的は、

1. 0    2. 0    3. 0    4. 30(68%)    5. 14(32%)

**② 利用頻度はどのくらいですか？**

1. ほぼ毎日    2. 週2～3回    3. 週に1回    4. 月に1～2回  
5. 年に2～3回

1. 6(3.7%)    2. 7(4.3%)    3. 14(8.6%)    4. 36(22.2%)    5. 99(61.1%)



総回答 162

うち、すさみ町住民の利用頻度は、

1. 2(8%)      2. 4(17%)      3. 10(42%)      4. 4(17%)      5. 4(17%)

すさみ町以外の住民の利用頻度は、

1. 4(4%)      2. 3(3%)      3. 4(4%)      4. 26(27%)      5. 58(61%)

和歌山県外の住民の利用頻度は、

1. 0      2. 0      3. 0      4. 6(14%)      5. 37(86%)

**Q 4. 平成 27 年に近畿自動車道紀勢線が南紀田辺インターからすさみインターまで延伸されますが、高速道路ができることにより、すさみ町にどのようなメリットがあると思いますか？(複数回答可)**

1. 観光経済の活性化      2. 産業の活性化      3. 災害拠点としての役割  
4. 日常生活の利便性の向上

1. 15(44.9%)      2. 24(9.3%)      3. 33(12.9%)      4. 84(32.8%)

総回答 256

**Q 5. すさみ町に来る観光目的は何ですか？(イノブータン建国祭の目的以外で)(複数回答可)**

1. 海釣り      2. 海水浴      3. 温泉  
4. 体験型観光(シュノーケリング、リバートレッキング等)      5. その他

1. 60(26.8%)      2. 43(19.2%)      3. 45(20.1%)      4. 15(6.7%)      5. 61(27.2%)

総回答 224

**Q 6. 最後にお答えいただいた方の性別・年齢層について確認させてください。**

A. 男性      B. 女性

1. 17 歳まで      2. 18 歳から 29 歳      3. 30 歳から 49 歳      4. 50 歳から 69 歳  
5. 70 歳以上

A. 63(34.2%)      B. 121(65.8%)

総回答 184

1. 10(5.4%)      2. 14(7.6%)      3. 112(60.5%)      4. 41(22.2%)      5. 8(4.3%)

総回答 185

### 高速道路延伸への関心

今回のアンケート調査では高速道路延伸についての質問項目を設けたので、回答者の居住地と高速道路の予想利用目的と予想利用頻度のクロス集計により得たグラフを示しておこう。すさみ町民にとっては「買い物」や「病院通い」のような利用目的、すさみ町以外では「観光目的」が主となっている。延伸の期待される効果も。すさみ町民では観光活性化と生活利便向上が拮抗しているが、それ以外では観光活性化が最も多く選ばれている。和歌山県民は防災拠点としての期待も無視できない。また、予想利用頻度はすさみ町民では週1回、それ以外では年に2～3回が最も多く選ばれた。

図4 高速道路の利用目的 (Q3-1: 回答者 164 人、回答総数 180)

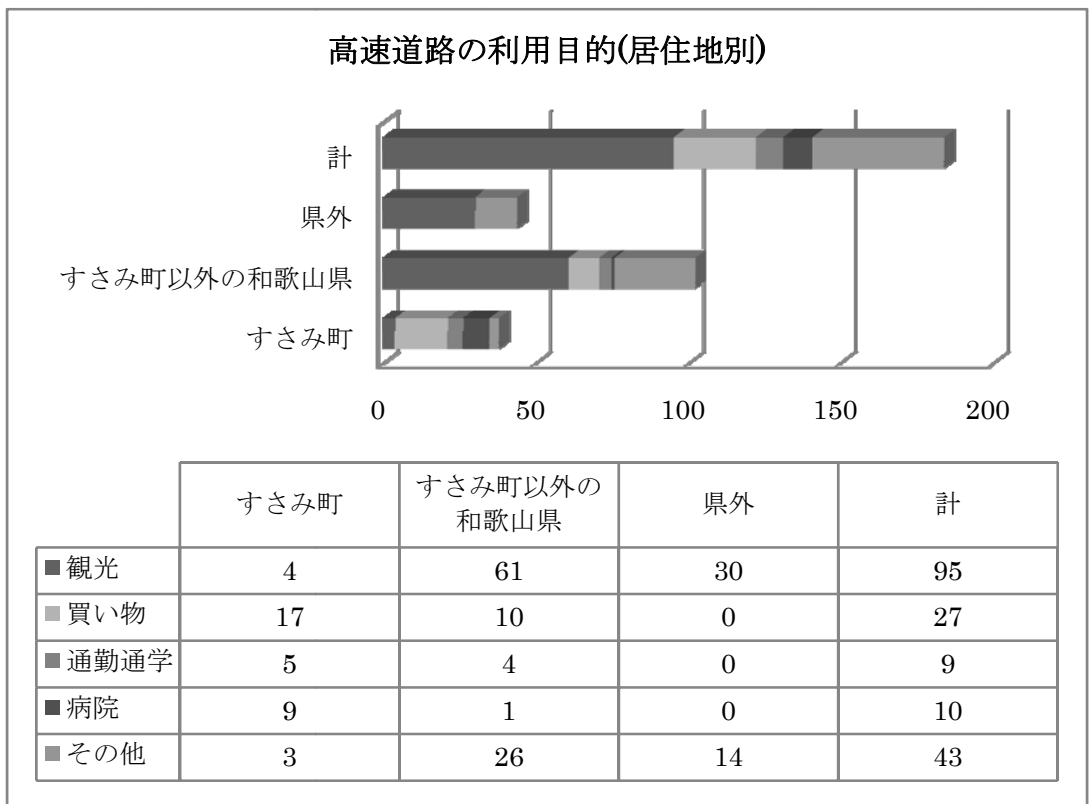


図5 高速道路の予想利用頻度 (Q3-2: 回答者 162人)

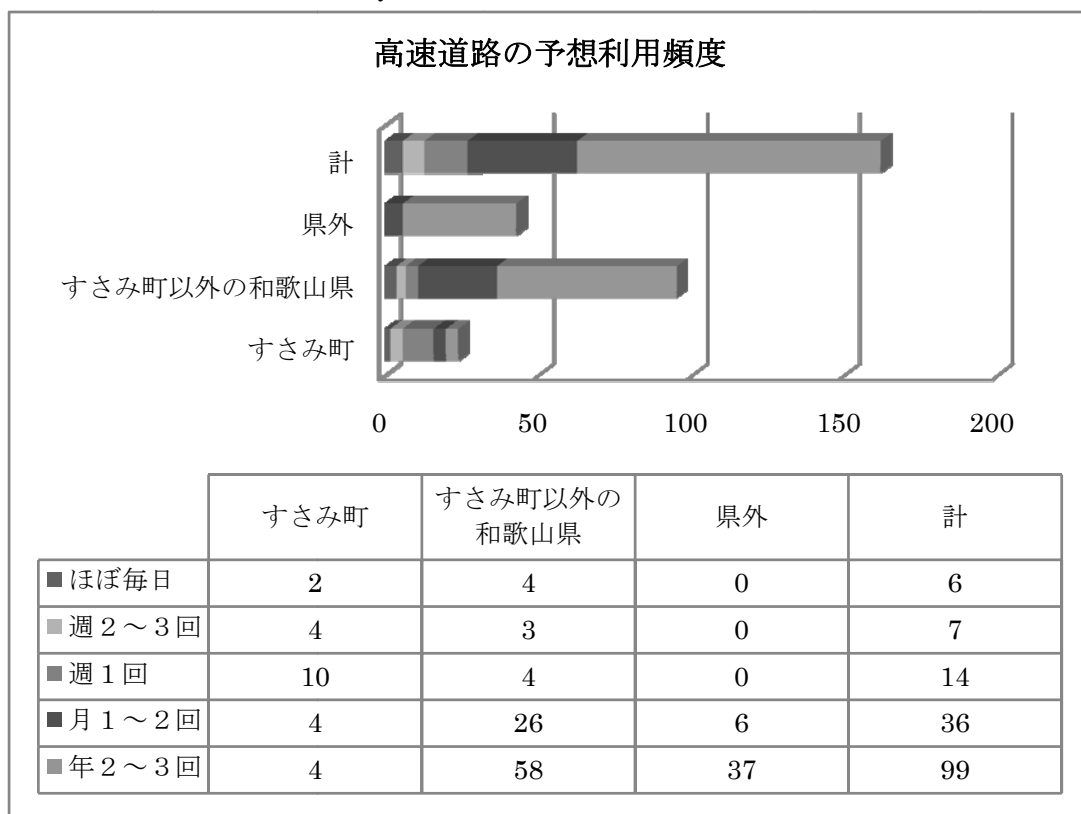
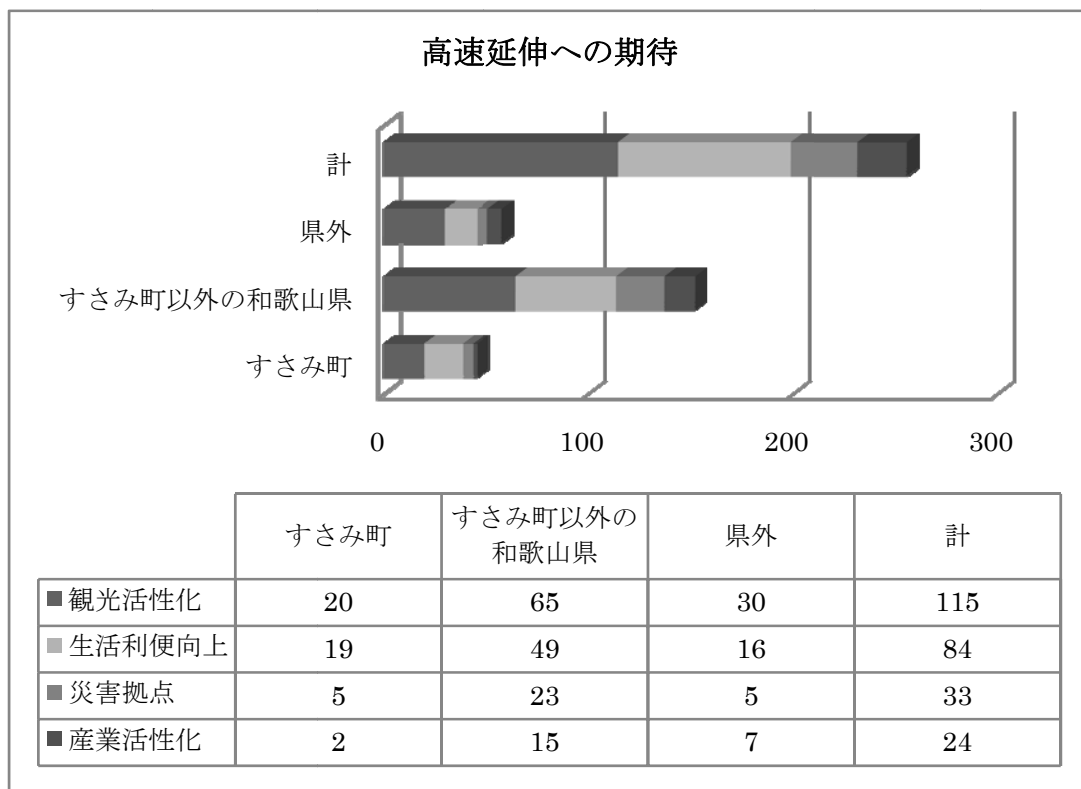


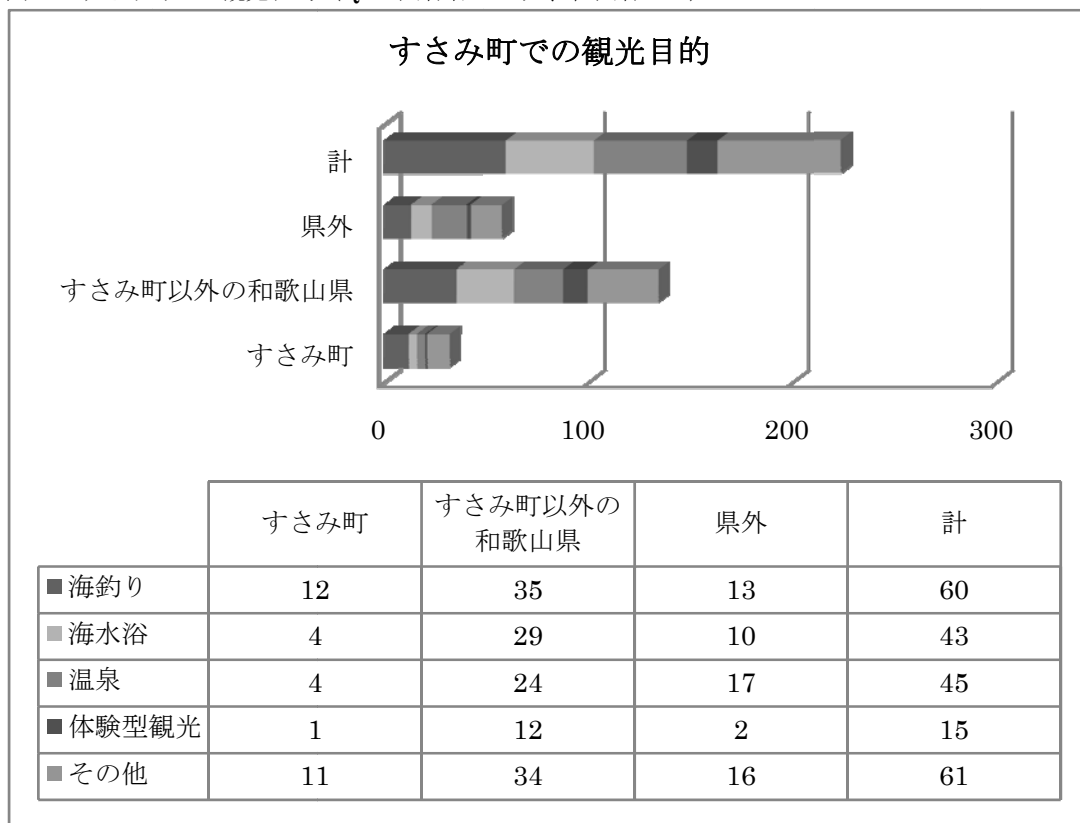
図6 高速延伸への期待 (Q4: 回答者 177 人、総回答 256)



## 観光への関心

同じく、回答者の居住地とすさみでの観光目的のグラフを示す。

図 7 すさみ町での観光目的（Q5：回答者 182 人、総回答 224）



なお、このアンケートの結果については、回答者数が 200 名を割っていること、また回答者の性別・年齢別の構成を考慮して判断されたい。

### 3. 会場内テント商店街の出店構成

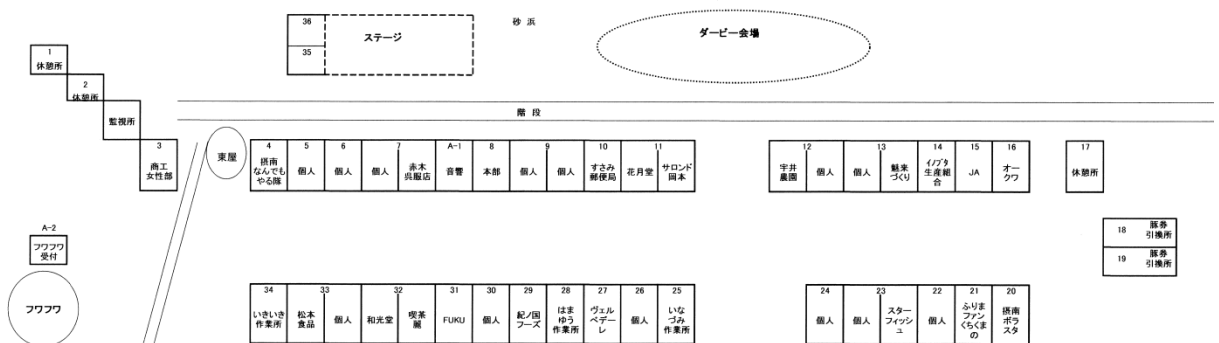
実行委員会から提供された会場テントへの出店図をもとにした図8を付す。テントには全体で34ロットのスペースがあるが、さらに店舗が分割されているテントもある。当日はほかにも、盲導犬協会の宣伝ブースのテントが設けられ、さらに寝屋川市から「寝屋バーガー」<sup>6</sup>の販売車が来ていた。商工会女性部は開場直後にイノブタ汁を無料サービスし多くの来場者が列をつくってそれを賞味していたが、その後は工芸品などの販売に切り替わった。

休憩所や本部、音響係、イノブタダービーの馬券ならぬ豚券の販売・引換所を除くと、テント商店街に36の団体・商店・個人が出店している。分類してみると、地域の団体・組合・NPO 5、ホテル、商店を含めた企業13、作業所3、町外ボランティア2（摂南大学）のほか、個人名で出店している店が12もある。（この図では、個人出店については、名前を消してある。）これらの売店で購入した金額に応じて豚券の引換券がもらえる。

販売物は20店以上がその場で飲食できる調理品やファーストフードで、なかにはイノブタの串焼き、めはりずしやサンマずしなどの特産品もある。摂南大学の学生たちが運営する2店では、パンのミミの砂糖あげや肉うどん、焼きそばを提供していて完売したとのことである。10店近くが農水産物とその加工品、薄皮まんじゅうなどの菓子の販売であるが、ヨーヨーなどの児童玩具3店、衣料品販売も2店ある。社寺の祭りの夜店などに多い露店業者は入っておらず、そのほとんどが町内および近辺の営業者および個人である。露店業者に依存せずにこれだけの出店者を確保できていることも、このイベントが地元に着していることの表れであろう。

図8 会場内テント売店の出店配置図

（主催者提供：個人出店者の氏名は削除した）



<sup>6</sup> これは寝屋川市内農家の特産物である大葉をふんだんに用いたハンバーガーで「寝屋川にご当地グルメを創出する会」の開発商品である。